

令和5年
8月号

Kashiwara No. 221
市議会だより



「亀の甲羅（コーラ）」で作ったコーラフロート

日本遺産「龍田古道・亀の瀬」PR商品のご当地コーラ「亀の甲羅（コーラ）」を市役所3階等で販売しておりますので、ぜひご賞味ください！



▲詳しく
はこちら

令和5年

第2回定例会の概要

令和5年第2回定例会は、6月1日から6月26日までの26日間の会期で開催し、市長提出議案及び議員提出議案の計33件を慎重に審議しました（提出議案の一覧は8ページに掲載）。

また、6月15日、16日に議案に対する質疑及び一般質問（個人質疑・質問）が行われました。（主な質疑・質問は3ページから7ページに抜粋して掲載）



電力・ガス・食料品等 価格高騰重点支援給付金

3億4,541万1千円

電力・ガス・食料品等の価格高騰による家計への負担が大きい低所得世帯を支援するため、1世帯あたり3万円の給付金を給付するもの。

令和5年度
一般会計
補正予算

Pickup!

地域応援キャンペーン事業

1億4,100万円

物価高騰の影響を受ける市民の生活支援及び地域の消費促進を目的として、キャッシュレス決済にポイントを付与するキャンペーンを実施するもの。

学校給食費補助事業

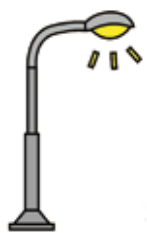
7,778万2千円

市立小中学校に通う子どもの保護者に対する経済的支援として、令和5年9月から12月までの学校給食費を全額補助するもの。



防犯灯電気料金高騰対策支援金

125万円



町会及び商店会が維持管理する防犯灯に係る電気料金の高騰に対して、その費用の一部を支援するもの。

子どもの生活に関する 実態調査共同実施業務

205万円

子どもの貧困対策に係る課題の把握及び効果的な施策の検討のため、大阪府と共同で実態調査を行うもの。

議案・一般に対する質疑質問から

問 不登校の要因が多様化・複雑化する中、報道等で、校則や校則に基づく指導が合理的範囲を逸脱している、この指摘があり、不登校の一因になりにかねないと危惧する。本市の状況を問う。

答 校則が不登校の直接の原因という報告は受けていない。校則は社会環境や児童生徒の状況に際し、絶えず見直していく必要があると考えている。

問 不登校の子どもにとっての優しい教育環境について、考えを問う。

答 全ての子どもが年齢等に応じて意見を表明できる機会が確保され、そ



の意見が尊重されること
が優しい教育環境につながると考える。不登校の状況にある子どもたちの健全な成長や自立を促すよりよい教育環境の整備を図っていく。

要望 よりよい教育環境となる取組の充実を図るよう強く要望する。



田中 秀昭

不登校の子ども
たちに寄り添った
教育環境を



問 子育て支援施設のコロナ禍後の運営と一時預かり事業の状況を問う。


答 事前予約制による利用者数の制限等の感染対策は現在も継続しているが、運営方法の早期見直しを行いたいと考えている。一時預かり事業は、満1歳から就学前の幼児で、授乳を必要とせず罹患等なければ、1日3時間以内で理由を問わず利用可能なもので、柏原つどいの広場「ほっとステーション」にて実施しており、前年度には延べ71人の利用があった。

要望 予約がなくなるともいつでも利用できるよう運



ほっとステーション（アゼリア柏原5階）

営の見直しを求めるとともに、今後は子育て中の保護者のリフレッシュのためにも、一時預かり事業を保健センターにある子育て支援センター「スキップキッズ」でも実施し、より充実したサービスを気軽に利用できるよう検討を進められたい。



峯 弘之

子育て支援施設
サービスの
さらなる充実を



問 視覚障害を持つ方への情報発信について問う。

答 市HPの音声読み上げや広報かしわらの点字版の配架、音声読み上げによる配信をしている。

問 端末を用い、記載された文章を音声で読み上げる「音声コード」の活用が、バリアフリー推進の観点から、また多言語化による観光分野での利用の観点からも有益であると思うが、その事業展開の考えを問う。

答 庁内連携により、市からの通知等へ音声コードの記載を進めて、情報提供方法を拡充することに加え、多言語化による



活用等の検討を進め、全庁的な活用につなげたい。


要望 音声コードを活用した「耳で聴くハザードマップ」等、全ての市民に等しく情報が伝わるよう全庁的に合理的配慮を行うとともに、多言語化の面での活用も前に進めていただくよう要望する。



中村 保治


音声コードの活用
で、全ての市民に
情報伝達を





大坪 教孝

どうする
文化センター

問 公共施設等再編整備基本計画案では、公民館本館と堅下分館が市民プラザへ、柏原図書館がリビエールホールへ移転し、

市民文化センターは解体される計画だが、堅下合同会館はどうなるのか。

答 市民プラザの急激な利用率の増加を緩和するため、当面は残置する。

問 性化に全力で取り組む。いつ実現するのか。

答 断言できないが、再編整備計画と並行し、全力で実行していきたい。

要望 柏原駅東地区に人があふれ、商店街も潤うよう「何年に完成を目指す」と市長の強い意志で進められたい。


問 公民館も図書館も柏原駅東地区からなくなるが、まちづくりを考える上で市長の考えを問う。

答 例えば、市民文化センター跡地に民間活力で商業施設等を整備し、その一部に公共施設を入居させる手法を用いる等、地区活

市民文化センター





市民文化センター



江村 淳

6月2日の豪雨
災害の経験と
教訓を活かそう

問 6月2日の豪雨時の災害対応について問う。

問 国交省と市で大和川の水位情報が異なる理由は、

答 大雨警報・洪水警報等の発表後、市内全域に避難指示を発令し、29か所の避難所を開設した。

答 市では、府内市町村の基準である柏原観測所の水位を使用している。

問 土砂災害と洪水にそれぞれ対応する避難所が同時に開設された場合、どちらに避難するのか。

要望 基準の観測所だけで判断せず、総合的に弾力的な運用が必要ではないか。今回の経験や教訓を活かすよう要望する。

答 お住まいの区域毎に、避難場所の特定が必要。

問 日頃からの広報活動や避難誘導等のあり方が問われる。高齢者等の避難はどう考えているか。

答 身近な方との避難を促し、避難行動要支援者へは個別避難計画を作成し、これに基づき対応する。

柏原市総合防災マップ



柏原市総合防災マップ



奥山 渉

子どもたちの安全
最優先に




問 学校における危機管理体制を問う。

に伴う防犯カメラを設置し、小学校では安全監視員を配置し、不審者の侵入防止対策に取り組んでいる。今後、小学校への防犯カメラの設置について研究していく。

答 校長・教頭が責任者となり、安全教育担当の教職員を中心に組織的な危機管理体制をとっており、警察等関係機関や地域・保護者と連携し、学校の危機管理体制を一層推進してまいりたい。

要望 国の補助を活用し、学校への防犯カメラ設置を検討するよう要望する。

問 全国で学校への不審者侵入事案が後を絶たないため、国では、2025年までの3年間、防犯カメラ等設置について、補助率を上げて支援を強化される。本市においても学校に防犯カメラを設置するべきではないか。

答 中学校では機械警備

中学校では機械警備



問 旧ハローワークや旧柏原東幼稚園跡地の活用について問う。

答 再編整備対象施設の貸館機能をサンヒル柏原に集約の上、多世代が交流できる「市民交流センター」として活用し、交通手段については、市内循環バスの増便や送迎用バス等の確保を検討する。

要望 サンヒルの屋外プールのように、市内はもちろん市外からも人気ある施設へと生まれ変わらせてほしい。



多世代交流の場として予定されているサンヒル柏原

問 公共施設等再編整備基本計画案におけるサンヒル柏原の活用と交通手段を問う。

答 跡地の利活用は確定していないが、市の財政に寄与できるような活用方法を検討していく。

要望 売却という選択肢よりも教育・文化施設、または公園等の福利施設の選択肢も残して、市民全体の福利に寄与する活用方法の検討を要望する。

問 本市における少子化対策の取組について問う。

答 出産・子育て応援給付金や子ども医療費助成、出産後には訪問事業、子育て支援センターでの広場事業の実施等、さまざまな施策を実施している。

問 就学前だけではなく、就学後から高校・大学への進学、就職から結婚までの一貫したサポートが必要な時代になっており、経済的支援や雇用環境を整える等、本市でも全庁的な取組が必要だと考えるが今後の進め方を問う。

答 国の少子化対策の展開も踏まえ、庁内で連携し、一体的に取り組む必

問 本市における少子化対策の取組について問う。

答 出産・子育て応援給付金や子ども医療費助成、出産後には訪問事業、子育て支援センターでの広場事業の実施等、さまざまな施策を実施している。

問 就学前だけではなく、就学後から高校・大学への進学、就職から結婚までの一貫したサポートが必要な時代になっており、経済的支援や雇用環境を整える等、本市でも全庁的な取組が必要だと考えるが今後の進め方を問う。

答 国の少子化対策の展開も踏まえ、庁内で連携し、一体的に取り組む必



問 本市における少子化対策の取組について問う。

答 出産・子育て応援給付金や子ども医療費助成、出産後には訪問事業、子育て支援センターでの広場事業の実施等、さまざまな施策を実施している。

問 就学前だけではなく、就学後から高校・大学への進学、就職から結婚までの一貫したサポートが必要な時代になっており、経済的支援や雇用環境を整える等、本市でも全庁的な取組が必要だと考えるが今後の進め方を問う。

答 国の少子化対策の展開も踏まえ、庁内で連携し、一体的に取り組む必

問 市HP上で「柏原市の財政状況について」が公表されたが、令和6年度から令和8年度にかけて、約19億円の収支不足額が発生する理由を問う。

答 生産年齢人口減少に伴い個人市民税が減少し、社会保障経費等が増加することから経常的な収支不足が進むこと、また、小学校屋内運動場の空調整備費用に11億円、恩智川多目的遊水地上面整備費用に4億円、公共施設等再編整備費用に27億円を臨時的な建設事業費として積算したこと、市債等の特定財源を充当してもなお財源に不足が生じる見込みである。

要望 府では町村の中長期財政シミュレーションを公表しているが、本市の場合はどうなるのか、大変心配している。予測できない支出に準備する必要があるため、将来を見据えた財政運営と行財政改革の推進を要望する。

問 市HP上で「柏原市の財政状況について」が公表されたが、令和6年度から令和8年度にかけて、約19億円の収支不足額が発生する理由を問う。

答 生産年齢人口減少に伴い個人市民税が減少し、社会保障経費等が増加することから経常的な収支不足が進むこと、また、小学校屋内運動場の空調整備費用に11億円、恩智川多目的遊水地上面整備費用に4億円、公共施設等再編整備費用に27億円を臨時的な建設事業費として積算したこと、市債等の特定財源を充当してもなお財源に不足が生じる見込みである。

要望 府では町村の中長期財政シミュレーションを公表しているが、本市の場合はどうなるのか、大変心配している。予測できない支出に準備する必要があるため、将来を見据えた財政運営と行財政改革の推進を要望する。



山口 由華
高齢者と子どもが寄り添う、笑顔あふれる施設を

乾 一
少子化対策として切れ目のない一貫した支援を

山本 修広
将来を見据えた財政運営を



梅原 壽恵

柏原図書館の
移転について




問 公共施設等再編整備基本計画案の中で、柏原図書館がリビエールホールに移転する案が示されたが、市民からの意見はどのようなものがあるか。

答 河川敷の前という立地を喜ぶ意見がある一方で、現在の場所から離れることに伴うアクセスへの懸念の声等があった。


問 移転で不便になる方への対応を副市長に問う。

答 素案の段階だが、JR柏原駅周辺の市所有施設に図書室的なものを設ける等、検討を進めてまいりたいと考えている。

要望 先日視察で訪れた近隣市では、廃園となっ



た幼稚園を改修して図書館分室として整備されていた。園庭が駐車場のな

で、雨でも多くの来館者があり、子どもをはじめ皆さんが平屋建ての図書館を身近に感じておられるようだった。本市にも廃園後の施設があるので参考にされたい。

鶴田 将良

かしわら花火で
更なるにぎわいの
創出を！

問 3月から5月にかけて市役所前河川敷で開催されたイベントを問う。

答 河川空間オープン化に向け、社会実験として7件のイベントを計画し、約1万人の来場者を集めたイベントもあった。

問 河川空間オープン化の進捗状況と今後のスケジュールを問う。

答 これまで社会実験を16回企画、協議会を5回実施し、今秋、国へ占用等についての要望書を提出したいと考えている。

答 11月4日実施に向け、実行委員会において内容

等の協議が行われ、警備計画等準備を進めている。

要望 大和川河川敷は、市内外の多くの方に、にぎわいのある水辺空間として認知されてきている。5年ぶりのかしわら花火で、本市の魅力を知り、笑顔あふれる楽しいイベントとするよう要望する。




橋本 満夫

市民文化センター
は建て替えを




問 市は図書館をどのよう

答 豊かな文化を育む生涯学習の場として位置づけ、幅広い世代が身近な学びの場として利用されるものと考えている。

要望 文科省が示す「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」では「住民の生活圏、図書館の利

用圏等を十分に考慮」とある。公共施設再編で、柏原図書館をリビエールホールに移転するとすると柏原地区の都市拠点から言つと端になってしま

う。また、余剰床面積が少ないリビエールホールに、改修費4億5千万円

もかけて図書館機能を詰

め込んでしまつてもよいのか。図書館、公民館の移転は、全市民に関わる、本市の将来にとって大きな問題である。市民文化センター跡地には、図書館・公民館機能を備えた生涯学習センターを新たに建設すべきである。



リビエールホール

議案・一般に対する質疑質問から

要望 駐車場が狭いとの

から進めていきたい。
 利用者が訪れる魅力ある事業の実施を協議しながら進めていきたい。



問 里山公園の現状と利用状況及び利用促進の取組について問う。
答 四季折々の花や樹木を楽しむことから新たな名所となっており、平成27年からは、子どもから大人まで広く楽しめる自然体験学習施設を設置している。利用状況は、令和4年度においては、3万7445人と前年度より増加傾向にあった。利用促進の取組は、桜の開花時期に合わせた開園時間の延長等、より多くの利用者が訪れる魅力ある事業の実施を協議しながら進めていきたい。

声があるので臨時駐車場を設ける等の対応を要望する。また、イルミネーションを用いた幻想的な風景づくりのほか、亀の瀬トンネル、竹原井離宮里山公園を中心に大和川河川敷空間と連携する等再訪したいと思ってもらえる運営を望む。

大木 留美
 竜田古道の里山公園の魅力ある環境整備を！

要望 地域のつながりが希薄化する中、見守りに

参加される方の減少や高齢化が社会的課題となっており、活動の人材が不足していると聞き及んでいる。学校、家庭、地域が連携し、安心して通学できる環境が子ども達にとって最良であると考えるので、さらなる体制強化に努められたい。



問 小学校の登下校時の見守り体制について問う。
答 校門付近では、小学校安全監視員が、通学路では、健全育成会で組織する子ども安全見守り隊が、それぞれ見守り活動に取り組んでいる。
問 健全育成会構成団体や見守り隊の人数を問う。
答 健全育成会は、区長会、更生保護女性会、子ども会、青少年指導員、青年団、地区福祉委員会、PTA等の団体で構成されており、見守り隊の活動人数は令和4年度の登録人数で725人である。

参加される方の減少や高齢化が社会的課題となっており、活動の人材が不足していると聞き及んでいる。学校、家庭、地域が連携し、安心して通学できる環境が子ども達にとって最良であると考えるので、さらなる体制強化に努められたい。

榎田 和之
 登下校の見守りについて

令和5年 第3回定例会 (予定)

月 日	会 議 名	内 容
8月31日(木)	本 会 議	議案説明
9月14日(木)	本 会 議	会派代表質疑・質問
9月15日(金)		
9月20日(水)	総務産業委員会	付託議案審査
9月22日(金)	厚生文教委員会	付託議案審査
9月29日(金)	本 会 議	委員長報告・採決

柏原市議会
 映像配信

本会議及び常任委員会の映像をインターネットでご覧いただけます。

◆YouTube (ライブ中継・録画) ※本会議及び常任委員会
 ◆映像配信ウェブサイト (録画) ※本会議のみ

令和5年第2回定例会の議決結果

議案番号	議案名	議決結果	自由民主党・無所属の会					大阪維新の会				公明党		日本共産党		個人	
			山下亜緯子	乾一	大坪教孝	田中秀昭	奥山涉	峯弘之	山本修広	榊田和之	梅原壽恵	鶴田将良	中村保治	大木留美	新屋広子	橋本満夫	江村淳
報告第3号	専決処分報告について「専決第3号 柏原市市税条例の一部改正について」	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第4号	専決処分報告について「専決第4号 令和4年度柏原市一般会計補正予算(第14号)」	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第5号	専決処分報告について「専決第5号 令和5年度柏原市一般会計補正予算(第2号)」	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第6号	専決処分報告について「専決第6号 損害賠償の額の決定について」	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告第7号	令和4年度柏原市一般会計予算の継続費繰越計算報告について	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告第8号	令和4年度柏原市一般会計予算の繰越明許費繰越計算報告について	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告第9号	令和4年度柏原市水道事業会計予算の繰越しについて	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告第10号	令和4年度柏原市下水道事業会計予算の繰越しについて	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
議案第26号	訴えの提起について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27~39号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意	◇	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◇	○	○	○
議案第40~43号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	柏原市市税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
議案第45号	柏原市国民健康保険条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号	柏原市国民健康保険条例及び柏原市介護保険条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号	柏原市自転車駐車場条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第48号	令和5年度柏原市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	令和5年度柏原市市立柏原病院事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第1号	議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

- ・議長は全ての議案に対し賛否を表明しません。 ・会派に属さない議員は「個人」と表記しています。
- ・賛成の場合は「○」、反対の場合は「×」、議決不要案件は「-」と表記しています。
- ・討論を行った議員は「討」と表記しています。 ・「◇」は、自己に関連する議案のため除斥となります。

令和4年度 政務活動費 収支報告書

政務活動費は、調査研究に資するための必要な経費として、条例に基づき、議員一人につき月額4万円を交付しています。柏原市では透明性を確保するため、収支報告書に領収書と会計帳簿の添付を義務付けています。〔単位：円〕

会派名	自由民主党・無所属の会	大阪維新の会	公明党	日本共産党	会派に属さない議員 山口由華
	交付額(利子含む)	2,400,006	2,400,010	1,440,006	960,004
支出内訳	調査研究費	0	0	0	0
	研修費	48,740	0	0	0
	調査旅費	518,816	13,581	90,420	0
	資料作成費	0	0	0	0
	資料購入費	105,820	0	5,060	21,142
	広報・広聴費	0	0	0	1,000
	人件費	0	0	0	0
	事務費	0	0	0	0
	事務所費	0	0	0	0
要請・陳情活動費	115,020	90,420	0	0	
支出額	788,396	104,001	95,480	22,142	0
返還額	1,611,610	2,296,009	1,344,526	937,862	480,001

※会派人数や四半期ごとの交付請求の有無により、交付額に差があります。

※詳しい収支報告書につきましては、柏原市議会ウェブサイトに掲載しております。



編集：柏原市議会広報委員会

委員長：新屋広子 副委員長：田中秀昭 大木留美 榊田和之 江村淳

